

JIS

プラスチック－硬質ポリ塩化ビニル板

JIS K 6745 : 2023

(JPSA/JPIF/JSA)

令和 5 年 11 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	株式会社 AIST Solutions
	千 葉 光 一	関西学院大学
	渡 田 滋 彦	一般社団法人日本船舶電装協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 31.7.17 改正：令和 5.11.20

官 報 掲 載 日：令和 5.11.20

原 案 作 成 者：日本プラスチック板協会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル TEL 03-3408-4342)

日本プラスチック工業連盟

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-5-2 アロマビル TEL 03-6661-6811)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 材料	2
5 種類	2
6 要求項目	3
6.1 外観	3
6.2 呼び寸法	3
6.3 性能	4
7 試験方法	5
7.1 一般的事項	5
7.2 外観	6
7.3 寸法	6
7.4 機械的特性	7
7.5 熱的特性	7
7.6 全光線透過率	9
7.7 耐薬品性	9
8 包装	10
8.1 出荷こん包	10
8.2 個別包装	10
9 表示	10
附属書 A (参考) くさびを使用した, プレス板の積層性試験方法	11
附属書 B (参考) 加熱曲げによる, プレス厚板の積層性試験方法	13
附属書 JA (規定) 耐薬品性試験方法及び要求性能	15
附属書 JB (参考) その他の機械的・物理的特性	17
附属書 JC (参考) JIS と対応国際規格との対比表	18
解 説	21

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本プラスチック板協会（JPSA）、日本プラスチック工業連盟（JPIF）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS K 6745:2015** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

プラスチック—硬質ポリ塩化ビニル板

Plastics—Unplasticized poly (vinyl chloride) sheets

序文

この規格は、2019年に第4版として発行されたISO 11833-1を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JCに示す。また、附属書JA及び附属書JBは対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、硬質ポリ塩化ビニル製の押出板及びプレス板（以下、板という。）について規定する。この規格は、厚さ1.0 mm以上の板に適用する。ただし、二軸延伸硬質ポリ塩化ビニル板及びエンボス板には適用しない。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 11833-1:2019, Plastics—Unplasticized poly (vinyl chloride) sheets—Part 1: Types, dimensions and characteristics for sheets of thickness not less than 1 mm (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格のうち、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7502 マイクロメータ

JIS B 7503 ダイヤルゲージ

JIS B 7507 製品の幾何特性仕様 (GPS) — 寸法測定機—ノギス

JIS B 7512 鋼製巻尺

JIS B 7516 金属製直尺

JIS K 6740-1 プラスチック—無可塑ポリ塩化ビニル (PVC-U) 成形用及び押出用材料—第1部：呼称方のシステム及びその仕様表記

注記 1 対応国際規格における引用規格：ISO 21306-1:2019, Plastics—Unplasticized poly (vinyl